

## 令和6年度第2回調布市表彰審査委員会会議要録

日 時 令和6年8月26日（月）  
午前10時00分から午前10時50分まで  
会 場 調布市役所5階 特別会議室

### ○ 出席者

【委員】 荻本会長，石原副会長，加藤委員，瀧柳委員，今井委員

【事務局】 総務部長，総務課職員4人

### ○ 会議内容

#### 1 審議

##### (1) 諮問第1号 市民表彰について

諮問について事務局から説明。

審議の結果，全委員異議なく諮問のとおり答申することに決定。

##### 【意見】

今井委員：生活文化功労，伝統文化功労が増えた要因は何か。また，今回も技能功労の推薦がなかったが，各方面への推薦依頼の際にどのような工夫をしたのか。

総務課長：市の内部，関係団体からの推薦で推薦者に大きな違いはないが，書類の例示方法の工夫や関連部署と意見交換する機会があり，結果として掘り起こしができたと考えている。

技能功労は商店会の会議に出席しPRした。アプローチの仕方は工夫しながら様々な団体に働きかけたい。

今井委員：これまでの表彰対象に加え，来年度の市制施行70周年を見据え，長年地域経済の活性化や市民生活の質の向上に貢献いただいた方も表彰を出来るよう検討していただきたい。

瀧柳委員：技能功労は団体等に直接的に働き掛けないと推薦は上がってこないのではないか。掘り出しのためにも，前もって推薦してほしい旨，声をかけた方が良いのではないか。

総務課長：書面では伝わらないことも多い。直接のアプローチを通して前

広に取り組んでいきたい。

今井委員：篤行について、調布市独自のPOSAカード封筒を用いて特殊詐欺を未然に防いだ事案が今年度複数あったが、これらは活動期間10年以上の表彰基準には該当しない。こうした単発的な事案であっても、市民の生命・身体、大切な財産を犯罪から守ったという観点から篤行として表彰対象となり得るか来年に向けて検討してみてほしい。

瀧柳委員：警察等のその他の表彰もある。市の表彰とその他の表彰との兼ね合いはどうとらえるのか。

今井委員：確かに警察からの表彰はあるので、個人の個々の事案ということだけではなく、それらの事案に協力した団体、組織に対して、表彰できる機会があれば、市として表彰してよいのではないかな。ただし、対象等をよく検討していただければと思う。

瀧柳委員：市の表彰でも青少年表彰等もあるので住み分けが難しい。考え方を整理できるとよい。

荻本会長：市に限らず自治会など多方面で表彰が実施されている。公平、公正な面をもって表彰できるとよい。

## (2) 諮問第2号 自治表彰について

諮問について事務局から説明。

審議の結果、全委員異議なく諮問のとおり答申することに決定。

## 2 その他

令和6年度調布市市政功労者表彰式について

日付 令和6年11月7日（木）

会場 文化会館たづくり くすのきホール

### 【意見】

今井委員：市長が受章者名を呼んだ際の受章者の起立については、自力では立てない方などに配慮しつつ受章者にわかりやすく案内をして欲しい。また、受賞対象者が亡くなられている場合はご遺族への対応も丁寧をお願いしたい。そして、来年の市政施行70周年に向けた準備と検討を今年から実施してほしい。

総務課長：来年度については概要がまだ決まっていない。60周年を踏まえて、改めて御相談しながら進めていきたい。

今井委員：記念写真撮影について、学校の入学式等のように撮影場所を設けるなどして、受章者や随行者が自由に撮影できるよう、混乱を避けるためのオペレーションを含め考えてほしい。

総務課長：写真撮影の場の提供など、記念の日にふさわしい対応ができるよう検討していきたい。